

氏名	厚 井 文 一
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1251 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和56年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学 位 論 文 題 目	好中球スーパーオキシド産生能に関する基礎的並びに臨床的研究 第1編 好中球スーパーオキシド産生能の測定に関する基礎的検討 第2編 急性白血病患者における好中球スーパーオキシド産生能に関する研究 第3編 好中球スーパーオキシド産生能に及ぼす各種抗白血病剤の影響
論 文 審 査 委 員	教授 長島秀夫 教授 栗井通泰 教授 産賀敏彦

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

サイトカラシンDとコンカナバリンAによる膜刺激の結果産生される好中球スーパーオキシド(O_2^-)をチトクロームC還元法を用い、分光光度計にて経時的に測定した。健康ヒト好中球 O_2^- 産生能は高齢者では非高齢者に比し有意の低値を示した。

急性白血病未治療例では白血病型にかかわらず低値を示し、抗白血病剤の投与によりさらに低下する傾向が認められた。完全寛解例では正常域よりも高値を示した。

抗白血病剤の好中球 O_2^- 産生能へ及ぼす影響を寛解強化療法の前後で検討すると、投与終了後60分で有意の低値を示したが、24時間以後では前値へ復帰、あるいはオーバーシュートする例もあった。in vitro の検討では、メソトレキセート(MTX)、オンコビン(VCR)、プレドニゾロン(Pred)の3剤が濃度依存性に、VCR・Predの2剤が時間依存性に好中球 O_2^- 産生能を抑制した。キサンチン+キサンチンオキシダーゼによる O_2^- 産生系に対し、MTXとPredの2剤が濃度依存性の抑制を示した。

論文審査の結果の要旨

本研究は急性白血病における好中球機能や抗白血病剤の好中球機能に及ぼす影響を好中球O₂産生能の面から検討し、重要な知見を明らかにし、さらに本症治療中に惹起される重症感染症の発症における宿主側要因のひとつを明確にしたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。